



本校は、椎葉村の山間に位置する学校です。標高625mにあり、春は桜色、夏は豊かな緑、秋は紅葉、冬は白銀と四季折々の彩り鮮やかな自然に囲まれます。現在8名の児童が通い、学校の伝統となっている落語にも挑戦しています。

今後、児童数増加が見込まれ、平成27年2月には、木造平屋建ての新校舎が完成しました。不土野地区民の温かい見守りに包まれながら、児童一人一人に応じたきめ細かな指導及び、不土野ならではの取組により、健全な児童育成をめざしています。

《学校の教育目標》

ふるさとを愛し、よく学ぶたくましい子どもの育成

《めざす子ども像》

- 進んで学習し、よく考える子ども【知】
- 明るく素直で、思いやりのある子ども【徳】
- 健康で、ねばりよく運動する子ども【体】

ふれあい・どりょく・のびのび キラリ不土野っ子！

「知」「徳」「体」の調和のとれた健やかな子ども



不土野ならではの教育



【こども落語全国大会（毎年、日向市にて7月開催）】

平成二年から始められた落語活動。“山の子どもたち”に積極性を！堂々と自分を表現できるようになってほしいとの願いを込めて取り組み始めたこの活動も、今年で26年目を迎えました。初めのうちは、見よう見まねで練習を重ねていましたが、平成17年度からは、文化庁事業により、年3回プロの落語家に指導をいただけるようになりました。春風亭柳之助師匠に落語の発声や所作などを教えていただくことで、「こども落語全国大会」において受賞するまでになっています。椎葉村主催の「平家まつり」でも落語披露を続けており、不土野ならではの伝統的活動となりました。現在、親も子も不土野落語に励んだという家庭が出始めています。



平成27年度は、春風亭柳之助師匠と三笑亭可女次（二ツ目）さんを招いての「落語」練習を行っています。「目線」、「笑顔」、「言葉の言い回し」など、細かな仕草まで教えていただきながら芸を磨いているところです。



ひえつき節日本一大会
（上椎葉にて9月開催：毎年）
伝統的芸能の一つである「ひえつき節」に挑戦。日本一を決める大会では、「優良賞」を受賞する児童もいます。声の張り、力強い歌声が見事です。



山菜採り
そして食す
自然の恵みを噛みしめています。



山菜： ふじ、お茶の葉、柿の葉、よもぎ、さど、タラの芽など

椎葉の山だからこそこの活動をと、地域の山菜採り名人とともに不土野上地区に行きました。道路脇をくまなく見つめるたび新しい発見がありました。袋いっぱい採れた山菜を、洗い、水気を拭き取り、小麦粉をまぶして天ぷらにしました。塩で味付けをしながらパクリ！思わず笑みがほころびます。「はじめて食べた。これ美味しい。家でほしい…。」不土野ならではの学びがさらに増えました。